

# くすのき



岡本小学校 学校だより

No.3

令和3年5月14日

『生き生き学校』



《学校教育目標》 夢に向かって未来を拓く『おかもとの子』の育成

## 委員会活動スタート

令和3年度の委員会活動がスタートしました。今年度、岡本小学校では、「主体的に学ぶ子の育成」をめざし、特別活動に力を入れています。

第1回めの委員会活動に先立ち、5月7日（金）には5・6年生が全員集合し、『プレ委員会活動』を行いました。

「みんな、いい顔してますね！」  
6年生の学年主任の言葉から、授業が始まりました。先生が子どもたちに問いかけます。

「□にはどんな言葉が入ると思いますか」

委員会活動とは？

□ するための活動

子どもたちは、次々と素敵な言葉を入れていきました。

「学校を楽しく」するための活動

「学校を元気に」するための活動

「岡本小学校をよく」するための活動

どれも正解。委員会活動は、岡本小学校をよりよく、より楽しく、より元気にするための活動です。めざすゴールは、子どもたちが決めた学校目標「みんなでチャレンジ！～笑顔輝く岡小～」です。

この目標をめざし、各委員会が得意なことを生かしながら、互いに協力をして活動することを確かめ合いました。

5月10日（月）は、今年度初めての委員会活動でした。どの委員会でも、司会・黒板書記・ノート書記等の役割分担がはっきりしており、委員長を中心に子どもたちが主体となり、会を運営していました。

「プレ委員会活動」の成果です。

「準備こそ全力投球」とは、志村けんさんが生前よく言っていた言葉だそうです。笑いの天才であっても、入念に準備をしていたということです。子どもたちが主体的に活躍できるよう、準備に余念のない岡本の先生たちの姿がそこにはありました。

## 絵本の会スタート！

絵本の会が再開しました。昨年度は休止していたため、2年ぶりのスタートです。

感染予防対策を万全にするため、絵本を読んでもくださるボランティアの方々を少人数に限り、3学年ずつによる各学級での実施としています。

久しぶりの絵本の読み聞かせに、子どもたちは静かに聞き入っていました。1日の始まりが、心穏やかであることは、コロナ禍にあっては特に必要なひとときです。



## つながるいのち



2年生ら1年生へ、アサガオの種の贈呈式が行われました。

「きょねん、私たちが育てたアサガオの種です。1年生も、一生懸命に育ててください。」

種が入っている袋も、一人ひとりが思いを込めて手作りました。アサガオを通して、命のバトンが引き継がれました。

4月27日（金）、学年学級懇談会が行われました。例年は、授業参観・PTA 総会も同日日程で行われていましたが、感染症対策のため、今年度は懇談会の実施とさせていただきます。

年度初めでもあり、また久しぶりの懇談会とあって、どの学年でも出席率が7割を超えました。椅子の準備等が間に合わなかった学年もあり、ご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。

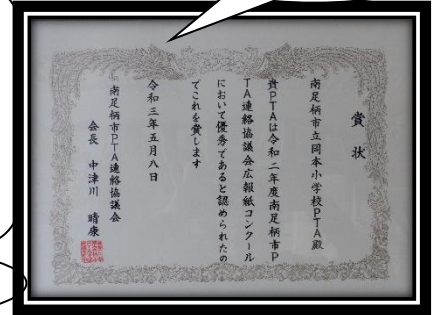
保護者の皆様のご関心の高さに感謝するとともに、今後も期待に浴えるよう尽力してまいります。

# みなさまの善意に支えられています!!

広報優秀賞

令和2年度岡本小学校 PTA 広報が優秀賞に選ばれました。5月8日(土)に開催された南足柄市 PTA 連絡協議会総会の中で、表彰されました。

コロナ禍にあって専門委員会が立ち上げられない状況での受賞は、大変価値のある喜ばしい出来事です。PTA の皆様、おめでとうございます。そして、ありがとうございました。



## 学校に潤いを

1棟の玄関を入ると、正面にいつも素敵な花が活けられています。

毎週、季節のお花を活けてくださっているのは、光輪花サークルの皆様です。年間を通して、休むことなく続けてくださっています。

花を愛でる気持ちは、私たちの心を穏やかにしてくれます。岡本小学校へお越しの際には、ぜひ足をとめてご覧ください。



## 児童図書寄贈

塚原生産森林組合の皆様より、85,000円分の児童図書の寄贈がありました。「未来ある子どもたちに、森林について興味・関心をもってもらいたい」という願いが形になるよう、今後図書委員会を中心に本の選定を行います。

夏休み前には、子どもたちの手元に本が届く予定です。どんな本が届けられるか今からワクワク楽しみです。

## ちりも積もれば 山となる

昨年度 PTA 活動で回収したベルマークから、ボールを購入させていただきました。「コロナ禍でも外遊びが楽しめるように」と、当たっても痛くないスポンジボールを購入しました。また、学年によって大きさや色も異なります。今後、体育委員会が各学級に使い方のルールなどを伝えに行きます。身近なベルマーク…今年度もコツコツとみんなて貯めていきましょう。

## わたしのひとりごと

「あなたの部屋のベッドの脚が3本ともはずれてしまったとしましょう。このベッドは、ぐらついていて、とても不安定です。あなたなら、どうしますか?」

出勤する車の中で聞いていたラジオ番組で、こんな問いかけに出会いました。

「はずれてしまった3本の脚に、本などをいれて安定させる」

「はずれてない一本の脚を折ってしまう」

という回答の他に、

「なおすのは面倒だから床に布団を敷いて寝る」

「どうにもならないから、当分放っておく」

という珍回答もあって、一人笑ってしまいました。

これは、実は真面目な問いかけて、5月8日にネイチャーという機関誌に掲載されていた記事だそうです。働きすぎや非効率な仕事、環境破壊といった深刻な問題がなかなか解決できないのは、「人間は引き算の決断が苦手で、足し算にこだわる」という思考の習性があるからだそうです。

思い当たる節はたくさんあります。昨年度から教科書が新しくなり、プログラミング教育、外国語など、学校教育には新しいものが次々と足し算されています。「子どもの成長のために」とは、一見聞こえはいいですが、足し算ばかりの教育を押し進めてしまうと、いずれ子どもも先生もパンクしてしまいそうな気がします。

子どもが「疲れたよ」と声にならない声で訴えるときがあります。そんなときには、思い切った、引き算の決断(立ち止まる・到達度を下げる等)をすることも必要なかもしれません。

